

## 株式会社アトラエ

## 企業プロフィール

設立  
2003年

本社所在地  
東京都港区

事業内容  
サービス業  
(求人メディア運営)

従業員数  
63名  
(2020年9月時点)

年間休日数  
125日(2020年度)

URL  
<https://atrae.co.jp/>



## 取組のポイント

意欲ある従業員が無駄なストレスなくイキイキと働き続けられるよう、勤続3年ごとに約1か月の有給の長期休暇を付与。

年次有給休暇を消化しきった従業員が困ったときに、サポートするための有給の特別サポート休暇制度も導入。

## 取組の目的・概要

- 「サバティカル3」は、意欲ある人が無駄なストレスなく、イキイキと働けるようにとの考えから設定した休暇制度であり、連続して約1か月(20日間)、有給で休暇を取得できる。
- 特別サポート休暇は、年次有給休暇を全て消化しきった場合でも、本人の病気や家族の介護などで休まなければならない場合に付与され、取得できる休暇制度である。

## 取組内容と特徴

## 日本ではまだ稀なサバティカル休暇制度

- 「サバティカル3」は、2018年3月に制度制定を発表

し、10月にスタートした制度で、連続して約1か月(20日間)の長期休暇を有給で取得できる制度である。

●制度制定のきっかけは、小学校受験する子を持つ父親である従業員が、その受験のサポートをしたいとのことで、約1か月間の年次有給休暇をしたことである。これを機に、人生においては、お金だけでなくまとまった時間が必要な時があるのではないか、日々の業務だけではなく従業員の人生を豊かにするようなことに時間を使ってほしいとの願いから、この休暇制度を制定した。

●「サバティカル3」の用途は特に決まっていない。従業員自身の考えで自由に使える制度である。また、取得時期も従業員の都合で自由に設定できる。ただし、分割しての取得は不可となっている。

●これまでの取得者は5名いるが、通常の休暇ではできないような、長期旅行や海外留学、資格取得、家族と

の時間などに利用している。同社のCTO(最高技術責任者)も取得している。

●月に2回、全社ミーティングを実施しており、情報共有の場を設けている。「サバティカル3」を取得した従業員は、この全体ミーティングにおいて、自身が「サバティカル3」を取得して、どのようなことをしたかを自発的に報告してくれている。

●休暇取得により従業員が長期間不在になるが、取得する際には、チームに迷惑が掛からないよう、業務を調整することが前提である。同社には共有するという文化があり、事前準備の内容や休暇取得に向けて改善したことなども、社内で使用しているチャットツールなどで共有している。また、部署ごとの組織だけでなく、職種ごとの横串組織があり、例えばデザイナーが「サバティカル3」を取得し、その業務で困った点などがあれば、デザイナーの横串組織内で相談して、アドバイスなどがもらえたりする。

●「サバティカル3」の取得者は、その休暇期間中にさまざまなことに取り組んでおり、その経験を経て、さらにパワーアップして戻ってくることは、会社にとってもメリットがあると考えている。

●「サバティカル3」の副次的な効果としては、以下のようなものがあると考えている。

▷属人化を防止:1人しかできない業務があると、長期休暇中は業務が停止してしまう。そうならないよう、属人化を防ぎ、複数の人で業務を行うようにすることで、互いにサポートでき、業務の停滞を防止できる。

▷生産性の向上:属人化を防ぎ、複数の人で業務を行うと、1人だけで実施しては気づかない業務の無駄やムラが排除でき、標準化できる。こうすることで業務の生産性が向上する。

▷離職防止:従業員には、短期留学したい、育児のために休みを取りたいなどさまざまな要望がある。従業員に配慮した制度を設けることで、エンゲージメントが向上し、離職率の低下につながる。

### 従業員をサポートする、特別サポート休暇

●特別サポート休暇は、年次有給休暇を全て消化した従業員が、本人の病気や家族の介護などの際に付与され、有給で取得できる制度である。

●この制度があるため、年次有給休暇を残しておく必要がなくなり、年次有給休暇の取得促進につながるものと考えている。

●同社は、スーパーフレックス制度により、決まった時間に業務に従事する必要がなく、通院のために一時的に外出したり、昼食後ジムに行ったりするなど、柔軟に勤務時間を調整することができる。この制度により、数時間程度の私用の場合に1日もしくは半日単位での年次有給休暇を取得する必要がなく、本当に必要な場合に、年次有給休暇を取得することができる。



サバティカル3 休暇中の谷口さん

#### 制度利用者の声

#### Greenプロジェクト 谷口 孟史さん

私は2012年に入社し、サバティカル3の導入時に対象者になりました。2019年11月末に子どもが生まれ、その年の12月末から1月末くらいまで、年末年始の休暇につなげてサバティカル3を取得しました。

取得にあたっては、何をいつまでに、どのように進めるかを考えて業務を調整し、準備してきました。日頃から、全く余裕がない状態にはしていなかったため、業務の調整にそこまで苦労はありませんでした。

サバティカル3の制度については、100%満足しています。社会人として働いている場合、やりたいことがあっても、年次有給休暇を取得してやってみるか、諦めるかという選択肢しかないと思われそうですが、この制度により選択肢が増え、仕事が忙しいためにやりたいことができないという従業員の不満は、かなり減るのではないかと思います。

この制度は本当に良い制度で、ポジティブな影響が大きいと思いますので、取得の権利のある社員は全員取るべきだと思っています。取得者の一人として、全体の取得率が高められるよう、一緒に考えていきたいと思っています。